人気温泉旅館ホテル250選限定企画

石川県・和倉温泉

加賀屋

もてなしの心を何より大切に

おもてなしの心を何よりも大切にしています―。石川県・和倉温泉の加賀屋（小田孝信社長）が唱える信条だ。

明治39年創業の同館。屋号には、創業者の小田与吉郎氏が加賀・津幡の出身であることと、天下に響く雄藩加賀百万石のように、大きく飛躍したいとの願いが込められている。

接客 サービス

加賀屋のもてなしの心は、先代女将の小田孝さんの信条から生まれた。「いつもお客さまの満足を第一に考え、働いた」という小田さん。小さな気配り、心配りを基本にした客室係のサービス。そして、今はどこでもみられる習慣、女将による部屋まわりのあいさつは、ここ加賀屋で始まった。

「小田孝は、お客さまには『できません』とは言わないようにして、一人ひとりのお客さまと真剣勝負をするつもりで、サービスにあたりました」（同館）。その心は今も受け継がれている。

雪月花、能登渚亭、能登客殿、能登本陣の各棟はすべて眺めを重視。七尾湾や和倉の温泉街を一望できる。雪月花18～20階は特別階。

「浜離宮」。専用エレベーターで行く貴賓客のための客室だ。

湯は十返舎一九が効能を書き記すほど全国でも著名な温泉の一つ。姉妹館「あえの風」の浴場も利用でき、両館はマイクロバスで結ばれている。

旅の楽しみの一つ、料理は、「お客さまの顔を思い描いて、一つひとつの皿にていねいに盛り付けるよう指導しています」と料理長。連泊の客には料理人が直接部屋に出向き、好みを聞いている。

7月5日に東海北陸自動車道が全線開通。東海方面から北陸、能登へのアクセスが飛躍的に向上した。7月19日～10月26日の100日間は「能登ふるさと博」が能登全域で開催。和倉温泉も例年以上のにぎわいをみせている。

▽加賀屋は石川県七尾市和倉町ヨ部80番地。☎0767・62・1111。http://www.kagaya.co.jp/

整然としたフロント

エステ サロン&スパ氣

兵庫県・洲本温泉

ホテルニューアワジ

神話モチーフの新浴場

兵庫県淡路島にある「ホテルニューアワジグループ」（木下紘一社長）は、12月20日に「ホテルニューアワジ」と「別亭淡路夢泉景」の両館で利用できる大浴場「くにうみの湯」をスパテラス水月に隣接の新棟にオープンする。淡路島に息づく、くにうみ神話をモチーフにした内装となる。

これまでスパテラス水月内の大浴場「淡路棚田の湯」は男女交代で利用していたが、「くにうみの湯」の完成で、男女共に、大浴場の温泉が利用できるようになる。「くにうみの湯」の新棟には、客室を新設し、新たな旅館として営業を開始する。

温泉 浴場

現存の淡路島の原風景、棚田の雰囲気をモチーフにした「淡路棚田の湯」は、オープン以来大人気。三段の湯船が特徴で、寝湯やジェットバス、露天風呂など、紀淡海峡の絶景を眺めながら、多彩な湯浴びを楽しめる。

温泉は2種類。「洲本温泉」は、無色の単純弱ラドン泉。「古茂江温泉」は、赤湯のナトリウム・塩化物強塩泉。

▽ホテルニューアワジは兵庫県洲本市古茂江海岸。☎0799・23・2200。http://www.newawaji.com/

新館・全景

島根県・玉造温泉

佳翠苑 皆美

藩主の極意を接客に

島根県の玉造温泉は、奈良時代に開かれ、有馬、道後などとともに日本最古の歴史を誇る。「佳翠苑皆美」（皆美佳邦社長）は、深い緑に囲まれた玉湯川のほとりに建つ。日本の粋を凝らした数寄屋風の佇まい。館内は純和風で、吹き抜けのロビーからは、滝が落ちる見事な日本庭園が広がる。

同旅館のこだわりの接客サービスは、茶人でもある松江7代藩主松平不昧公のおもてなしの極意で育まれた「おもてなしの心」でさりげなく、行き届いたサービスを提供し、宿泊客の心を癒している。

接客 サービス

「客のこころになりて亭主せよ」をモットーとし、宿泊客が望む〝日頃からの開放感〟に、従業員一同が気配り、目配り、心配りで、きめ細やかなサービスを心がけている。

館内には、季節の花が活けられ、湯上り処ではお茶のもてなしもある。

皆美グループの基幹である「皆美館」は今年で120周年を迎える。同館では、長い歴史の中ながらにして名湯、皆生温泉。昔、漁師が海中に温かい水が湧いているのを見つけたのが、その始まりといわれる。泉質は弱食塩泉で、天然タラソテラピーとばかりに美容と健康、長寿を求めて多くの観光客がこの地を訪れている。

▽佳翠苑皆美は島根県松江市玉湯町玉造121―8。☎0852・62・0331。http://www.minami-g.co.jp/

展望露天風呂「天遊の湯」

鳥取県・皆生温泉

華水亭

日本海望む絶景露天風呂

日本海に面した山陰の名湯、皆生温泉。昔、漁師が海中に温かい水が湧いているのを見つけたのが、その始まりといわれる。泉質は弱食塩泉で、天然タラソテラピーとばかりに美容と健康、長寿を求めて多くの観光客がこの地を訪れている。

温泉 浴場

華水亭（伊坂博社長）は、姉妹館の皆生グランドホテル天水とともに同温泉を代表する旅館だ。全室和室で、海を一望する贅沢な空間のなかでも、特にこだわりを見せるのがやはり温泉だ。4つの大浴場、露天風呂と、同じく4つの貸し切り家族風呂を持ち、館内に居ぜいたくな湯巡りが楽しめる。

02年4月に新設された大浴場、男性用「松風の湯」と女性用「大山の湯屋」は、内風呂よりも露天風呂の方が広いというユニークな特徴を持つ。日本海に面するというメリットを最大限に生かし、特に眺望を重視した造りにしている。

また、内風呂にも工夫を凝らした。例えば、冬場は浴室内に暖房を入れ、窓ガラスが曇らないように配慮。屋内に居ても見事な景色を四季を通じて楽しめるようにしている。

このほか松風の湯は檜造りの寝湯を備え、寝ながら眺望を堪能できる。大山の湯屋はマイナスイオンを発生し、健康にいいトルマリンを入れているほか、海と大山の両方が見られる抜群の景観を誇る。

両浴場と同時にオープンした貸し切り家族風呂は、露天風呂「福の湯」「禄の湯」「寿の湯」と、内風呂の「瞑想の湯」。露天風呂は開放感が特徴。内風呂は天井が高く、広々とした雰囲気だ。

館内にはまた、露天風呂付き客室を8室備え、同館ではこれら新しい温泉施設を総称して「湯賓館」と呼んでいる。

伊坂社長は「温泉は自家源泉。大きな浴場と見事な景観でゆったりとした時をお過ごしください」と話す。

▽華水亭は鳥取県米子市皆生温泉。☎0859・33・0001。http://www.kaike-grandhotel.co.jp/kasuitei/index.html

男性露天風呂

女性露天風呂

香川県・こんぴら温泉郷

湯元こんぴら温泉 華の湯紅梅亭

敷地内に独自源泉持つ

香川県こんぴら温泉郷の「湯元こんぴら温泉華の湯紅梅亭」（近兼孝休社長）は、敷地内に独自源泉を持つ温泉自慢の宿。

温泉 浴場

泉質はナトリウム・カルシウム―塩化物温泉で神経痛や慢性婦人病などに効能がある。良質な温泉は、庭園大浴場露天風呂「花てらす」と地下大浴場露天風呂「花すみか」で楽しめる。「花てらす」は、花に包まれた庭園露天風呂や庭園を臨むガーデンプール、散歩道には足湯もあり、外湯感覚で9つの湯めぐりを満喫できる。

「花すみか」では、今年4月から、琴平町が管理する源泉「こんぴら温泉いこいの湯」（アルカリ性単純泉）が楽しめる。

木の風合いを生かした風情のある空間で、うたせ湯やあわ湯など バラエティー豊かな湯浴びができると好評。女性客には、ひのき露天風呂の湯船に花びらを浮かべた「華風呂」のサービスも。

▽湯元こんぴら温泉華の湯紅梅亭は香川県仲多度郡琴平町556―1。☎0877・75・1111。http://www.kobaitei.jp/

紅梅亭花すみか

長崎県・平戸千里ヶ浜温泉

ホテル蘭風

天然活魚料理と400坪の温泉

長崎県・平戸千里ヶ浜温泉のホテル蘭風（田口満社長）は、目の前が海という絶好のロケーションにある。遠浅で幅1キロの長大なプライベートビーチでは、海水浴はもちろん、ウインドサーフィン、ジェットスキー、カヌーなど、様々なマリンスポーツが楽しめる。さらに1年を通して地引網の体験もでき、教育旅行プログラムとしても人気を博している。

そんな同館がこだわるのは料理と温泉。料理は海の幸がメーンで、天然活魚コーナーでは定置網で取れた天然活魚を漁業組合から買い取り、いけすで泳がせている。好きな食材を客に選んでもらい、目の前で調理して会食場へ運ぶという趣向だ。

料理 食事

炉端焼きコーナーでは、ちゃんぽん、うどんを気軽に楽しめるほか、活魚コーナーで選んだ魚介類も味わえる。日帰り入浴客の利用も多い。

温泉施設は、西九州最大規模。400坪の敷地に18個の湯船があり、ジャグジー、薬草風呂、海草風呂などバラエティに富む。

露天風呂は湯船が5つ。九十九島を一望する展望大浴場や、庭園風の屋内大浴場など、温泉ざんまいを楽しめる。

温泉の泉質はナトリウム―炭酸水素塩泉（中性低張高温泉）。神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩など、様々な疾病に効果があるといわれている。

「料理については、平戸の新鮮な海の幸を豊富に使った会席料理を中心に、厳選された素材を使用しております。特に平戸のひらめは、水揚げ高日本一を誇る平戸の志々伎漁協で採れた天然平戸黄金ひらめで有名です」

「温泉は平戸で唯一敷地内に湧出する泉源を持ち、日量110トンの湯量を基本的に掛け流しをしていますが、湯船の総量が75トンのため一部加水、循環を行っています」（田口社長）。

敷地内には本格的な乗馬コースとショートゴルフコースも。とにかくスケールが大きい。

▽ホテル蘭風は長崎県平戸市川内町55。☎0950・23・2111。http://www.hotelranpu.com/

西九州最大規模の大露天風呂

天然活魚をふんだんに使った料理

熊本県・黒川温泉

湯峡の響き 優彩

湯量豊富なやすらぎの空間

自然や文化を生かした統一感のある景観、心休まる温泉情緒で、人々の旅情を誘う黒川温泉。その地を流れる筑後川の岸辺に建つ山峡の宿、それが「湯峡の響き 優彩」（高島淳一社長）。あふれる湯に肩まで浸かれば、「やすらぎのユートピア」と銘打つ通り、極上のひと時を満喫できる。

温泉 浴場

敷地内の自家源泉を使用し、風呂はすべて源泉かけ流し。湯は毎日入れ替えるというこだわりようだ。泉質はナトリウム―塩化物・硫酸塩泉で、神経痛、筋肉痛などに効くと言われている。

館内の浴場は、宿泊客専用の「まほろばの湯場」、黒川名物の入湯手形でも利用できる「やわらぎの湯場」、カップルなどに人気が高い半露天の「貸切風呂 杉の湯」があり、それぞれの魅力を備えている。

のんびりと湯を楽しみたいなら、まほろばの湯場だ。〝最高の場所〟を意味する「まほろば」の名を冠したこの浴場は、「竹林の湯」「双檜の湯」「渓流の湯」の3つの湯で構成されている。

竹林の湯は、外部に面する2面が床から天井までガラス張りになっており、うっそうと生えるモウソウダケが近くにせまる。まるで竹林に迷い込んだようだ。「夜はライトアップされた竹林が幻想的な空間を演出してくれる。陽が落ち揺れる竹林が美しい」（同館の松岡明一営業部長）。

このほかにも檜をふんだんに配した双檜の湯。その双檜の湯からさらに進めば、眼下に滝を臨める渓流の湯があり、この滝も夜間には美しくライトアップされる。

湯を堪能し、上質な時間を過ごそうという滞在客に人気なのが、2年前にオープンした「灯小路（あかりこうじ）」タイプの客室。通路には行灯が置かれ、客室ごとに門構えをしつらえ、離れのような雰囲気が漂う。

▽湯峡の響き 優彩は熊本県阿蘇郡南小国町黒川温泉。☎0967・44・0111。http://www.yusai.com/

竹林の湯

灯小路の客室へのアプローチ

鹿児島県・霧島温泉

霧島山上ホテル

自然林に囲まれて入浴

国立公園、霧島連峰の中腹にある山荘風ホテル・霧島山上ホテル（木佐貫斉社長）の自慢の1つが温泉だ。桜林の湯、呉竹の湯、展望竹炭露天風呂、岩露天風呂、桧露天風呂――と異なる入浴施設がそろっている。

温泉 浴場

低張性、高温泉の単純硫黄温泉で、かけ流し。神経痛、関節痛、筋肉痛などに効能がある。

霧島は自然林豊富で、緑あふれる地域。岩露天風呂はそうした自然林に囲まれ、温泉につかりながら森林浴ができ「心身ともにリフレッシュできる」と評判だ。

展望竹炭露天風呂も一度は入ってほしい。その名の通り、竹炭を浴槽内につけ込んでいる。定期的に交換し、効果が薄れないように している。竹炭露天風呂から見る桜島や錦江湾なども素晴らしい。

▽霧島山上ホテルは鹿児島県霧島市牧園高千穂3761。☎0995・78・2711。http://www.sanjo-hotel.co.jp/

桜もはえる岩露天風呂